冬休み特別企画・写真展

（人と自然の博物館・日本雪氷学会関東･中部･西日本支部　共催）

植物シモバシラが魅せる氷の世界

― 身近で観察できる氷をつくる植物・アキチョウジ ―



シモバシラの氷

冬の寒い朝、茎から霜柱のような氷をつくる植物として、シソ科のシモバシラが知られています．しかし、近畿地方では自生地が和歌山県の一部に限られているため、観察できる機会は多くありません．そこで、兵庫県内の山野に普通に見られる同じシソ科のアキチョウジを三田市内で観察したところ、12 月から 2 月の氷点下に冷え込んだ朝には、頻繁に氷をつくることが分かりました．兵庫県は、日本海側から瀬戸内側まで多様な気候をもつ県です．本展示では、冬期の気象データをもとに、県内のどの地域でこうした氷が観察しやすいのかを紹介します．植物がつくる氷は、一つひとつ形が異なり、朝日に照らされるとシルクのような美しい輝きを放ちます．その幻想的な姿は、見る人に大きな感動を与えてくれます．冬だけに見られる植物の不思議な世界を、パネルと写真でお楽しみください．

期　　間：　2026 年 11 月 21 日（土）～2026 年 12 月 27 日（日）
場　　所：　兵庫県立人と自然の博物館　３階ひとはくギャラリー
問合せ先：　兵庫県立人と自然の博物館　副館長　石田弘明
　　電話：079-559-2001（代表）